



2008年6月23日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・渉外室

デンマーク大手電力に大型排煙脱硫装置の技術ライセンス供与

千代田化工建設(本社:横浜市 社長:久保田 隆)は、バーマイスター・アンド・ウェイン・エナジー社 (Burmeister & Wain Energy A/S 本社:デンマーク 以下 "BWE 社、")を通じ、欧州の大手エネルギー会社であるドン・エナジー社 (Dong Energy A/S 本社:デンマーク)が所有するアスネス発電所向けに、CT-121 プロセス*の技術ライセンスを供与することが決定しましたので、お知らせいたします。

アスネス発電所は、デンマーク、カルンボルグにある同国で最大規模の発電能力(1,057MW)を持つ石炭火力発電所です。今回の契約では、当社はCT-121プロセスをBWE社へライセンス供与するとともにその基本設計を行い、BWE社は同プロセスをドン・エナジー社にサブライセンス供与し、設計、調達、建設工事を担当します。

当社は、2004年にデンマークの大手エンジニアリング会社であるBWE社およびイタリアのサルバトーレ・トリフォネ・アンド・フィリ社 (Salvatore Trifone & Figli S. p. A、BWE社の親会社)との間で、欧州向けライセンス契約を調印しており、今回の受注は同契約下での初の受注となります。

ライセンス供与により利益回収を図る営業手法は、通常的设计・調達・建設とは異なり、リスクが少なく確実な利益回収が図れるビジネスモデルです。今後も欧州市場では、東欧圏を中心に排煙脱硫装置の堅実な需要が見込まれ、当社のCT-121プロセスは、その技術優位性から更なる受注が予想されます。CT-121プロセスは、環境規制の強まる米国市場においては既に約22%のシェアを獲得しており、欧州においても、今回の受注を足がかりに、シェア拡大に向け更なる営業展開を図ってまいります。

*CT-121 プロセス(千代田サラブレッド 121 排煙脱硫法)

石油・石炭焚きボイラーなどの排煙から二酸化硫黄(SO₂)を吸収し、石こうとして固定する千代田独自の排煙脱硫プロセス。亜硫酸ガスの吸収液を排煙にスプレーする一般的な方式と異なり、吸収液中に排煙を直接噴出、混合するジェット・バブリング・リアクターという特殊な装置を採用することにより、少ない消費動力で高い脱硫率を達成することが可能。装置がコンパクトであり、メンテナンスも容易である。国内外で本件含め87件の実績を持ち、米国市場では現在約22%のシェアを持つ。

以上

この件に関するお問合せ先: IR・渉外室 伊藤 健/青木 健一
電話 045-506-7538
Fax 045-506-7085
e-mail kenaoki@ykh.chiyoda.co.jp